



にゅうようせ

乳幼セだより

R6.10 No.3

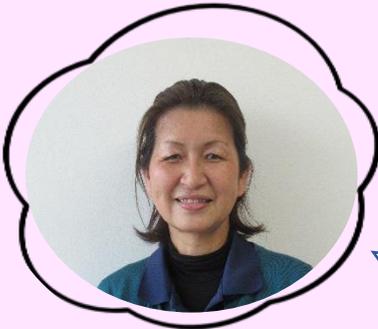
山口県
乳幼児の育ちと学び支援センター
☎083-933-4450
✉a50908@pref.yamaguchi.lg.jp



🌸 保育者フェスタ代替研修を行います! 🌸



【いつでもだれでもどこでも楽しめる!レクリエーション講座♪】



レクリエーション協会
沖村 文子 先生

「保育者フェスタ 2024」を8月31日(土)に開催する予定でしたが、残念ながら台風で中止となってしまいました。楽しみにしておられた皆様の思いにお応えして、11月30日(土)にセミナーパーク体育館で、代替研修を開催いたします!講師は、レクリエーション協会 沖村文子先生です。詳しくは、本センターWeb ページやInstagram等にチラシを掲載していますので、ぜひご覧ください♪

『子どもは楽しいと感じて育つ』

子どもたちが育つ環境は、10年・20年前と比較するととても遊びづらい、学びづらい環境になっています。今ある環境の中で何を大事にしていけば良いのか?をともに感じる時間を過ごしながらかえましょう。まずは、保育者自身が、「わっ!」と驚き、「楽しい!!」を体感してみましょう!

こんにちは!
岡岡コンビです!

第37回 縣市町指導主事等自主研修会に参加しました!

9月13日(金)の「第37回 縣市町指導主事等自主研修会」に参加し、幼児教育で大切にしていることや、園での子どもたちの生活や発達について、小・中学校の先生方である、各地の指導主事の方々と対話しながら、講話をしました!

指導主事の方のお話は貴重な経験でした。幼児教育・保育は、環境を通して行うことが基本で、子どもの興味関心に合わせて設定していることや、直接体験を大切にしていることを話しました。お互いの教育・保育の考え方を、対話しながら共有し、気軽に話せる関係作りが連携の第一歩だと思いました。



指導主事である学校の先生方の、幼児教育・保育への色々な考え方を知ることができました。お互いが難しく考えすぎず、ゆったりと歩み寄っていけるといいなと感じました。また、講話をするにあたり、自分の中で、幼児教育・保育にとって大切だと感じる事を改めて振り返ることもできました。



乳幼セコラム
いっぽ

「こどもの気持ちを大切にすること」とは?

スクールソーシャルワーカー 竹下 朋子

こどもが転んだ時、思わず「大丈夫だよ。」と言ってしまうことはありませんか? 雷が鳴った時も「大丈夫だよ。」と言いたくなりますよね。でもこどもは転んだ時、痛い、悲しい、悔しいと本当は思っているかもしれません。雷が鳴ると怖いと思っているかもしれませんね。こんな時にまず大人がこどもの本物の感情を感じて、それを言葉にすることを大切にしてみてください。大人が感情を言葉にすることで、この気持ちが悲しい、悔しいということか、この気持ちが怖いということか、その気持ちを言葉にしていなのだ学ぶことができます。逆に大人自身が気持ちを我慢していると、周りにも我慢することを学ぶことになります。

基本感情には悲しみ、恐怖、怒り、嫌悪、喜び、驚きなどがありますが、特に悲しみ、怖い、怒り、喜びを自分自身でよく感じてみてください。

これまで時には感じないふりをしたり、我慢したりすることもあったでしょう。そうして、その時を乗り越えて来たのです。でも思い出すと辛い気持ちが残っているとしたら、その気持ちをよく感じてみてください。そして小さな頃の自分に「よくがんばったね、辛かったね。」と理想の親となって声をかけてみてください。辛かった思い出がそのように感情消化することで、少しずつ軽くなるかと思えます。

このように、こどもたちの気持ちも本物の感情をまずは受け止めてあげてください。イライラする時は悲しみや怖さが隠れていることもありますので、その気持ちも受け止めてあげましょう。その後で「大丈夫だよ。」と伝えてほしいと思います。